



玉屏風散 (ぎょくへいふうさん)

【処方コンセプト】汗をよくかき、疲れやすく、風邪をひきやすい方。

この処方名のキーワードは、屏風(びょうぶ)という言葉である。屏風は壁のように完全にものを遮断してしまうのではなくて、必要なものを通過させ、入ってはならないものをくい止める働きがある。頭に玉(ぎょく：宝飾品などの意味)がついているのは、大変貴重なものという意味。屏風で(免疫力で)外からの邪を防ぎ、外的要因から身体をしっかり守る薬と考えられる。

◆皮膚の表面には衛気(えき)という気(エネルギー)が流れ、体表をしっかりガードしていると考ええる。

◆玉屏風散はその衛気が不足した状態に適する処方。衛気が不足すると汗をかきやすくなるほか、外邪に対する防衛力が落ちて、風邪をひきやすくなったり、なかなか治らずに長引いたりする。温度変化にも順応しにくいいため、少しの温度変化でクシャミ、鼻水などのアレルギー

桂枝湯	○	○								○		○		○				5
防己黄耆湯			○				○	○		○								6
補中益気湯			○	○	○			○		○	○	○	○		○			10
六味丸					○	○		○				○		○		○		6

処方名	類方鑑別
玉屏風散	衛気虚（免疫低下）の代表処方。かぜをひきやすい方に。
桂枝湯	かぜの初期で発熱・痛みがある。気が上衝する方に。
防己黄耆湯	上記の2処方と同じく表虚で自汗する。下半身に水が溜まり体が重い。
補中益気湯	日頃から疲労し表裏とも気虚。全身機能を高める体力増強剤。
六味丸	寝汗の原因が陰虚にあるとき。潤いが不足し、ほてり・排尿障害も。